

「会社が倒産、主人は失業。数百万円の借金が残った」。五年前、家庭を襲った窮地に一念発起し、四十歳でインターネットのホームページ(ウェブ)デザイナーとして起業した元「若屋夫人」が、電子書籍の普及に取り組んでいる。ゼロから起業した経験を電子書籍として今年四月に出版したところ、予想を大きく上回る反響があった。「やればできる」という勇気をブロードバンド(高速大容量)の追い風に乗せて配信している。

「電子書籍を使った情報発信は簡単で素晴らしい可能性があります。みなさんも関西の元気なパワーを發揮してください」。七月十日、大阪府立女性センターの「電子書籍で情報発信」と題したセミナーで、コーディネーターの中島美佐穂さん(44)は約五十人の来場者に呼びかけた。

中島さんはホームページの受注制作に追われる中島さん(兵庫県西宮市)



自宅をSOHOとしてホームページの受注制作に追われる中島さん(兵庫県西宮市)

ネット起業 家庭を救う

専業主婦から転身／家業の倒産乗り越える

を迎えたところからだ。

中島さんは五年前までは兵庫県芦屋市の高級マンションに住む専業主婦だった。愛媛県で生まれた中島さんは大阪教育大に進学した後、アシスタントディレクターとして在阪のテレビ局に勤め、一年後に結婚退社。四十歳まで幸せな生活が続いた。

転機は一九九九年秋。親族が経営する商社が事実上倒産、役員だった夫も職を失つた。千五百万円の株券は紙くずと化し、マンショーンは退居。

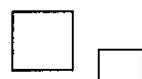
「正直、田の前が真っ暗になつた」が、借金の返済と日々の家計のやりくりが急務。ハローワークを訪れたが、募集が少ないうえ、アルバイトには年齢制限がある。「何か技術を身につければ一

反響絶え間なし さらなる事業も

「普通のおばさんでもネットで起業できる」と考査出版を知つてほしい」と考査出版を思つて立つたが、資金も乏しく商業出版は難しい。そんな時、電子書籍の出版ノウハウの紹介をネットで発見。それに習つて、自身の経験と蓄積したノウハウを、電子書籍(たゞ)本を読みあさった。疑問点は

焼き子のネットでタコタコ儲けまひょー(<http://www.ebook/>)としてホーリーネットビジネス。「パソコンの本格的な知識はない。専門学校は授業料が数万円単位と高額。学校はあきらめ、独学で百冊を超す本を読みあさった。疑問点は

「何かに挑戦してみようか」という興味はあるても、きっかけがなかった」と振り返る中島さん。逆境をバネに新境地を開拓するパワーあふれる女性は少なくないはずだ。



**40歳までは順風
転機は99年に**

中島さんはホームページの制作などを手掛けるSOHO(スマートオフィス・ホーム)企業「ZERO web & design」の代表。四人の契約スタッフを抱

う。趣味で勉強した色彩心理表。四人の契約スタッフを抱

え、異業種交流会などにも積極的だ。「関西から文化力」を合言葉に文化庁の河合隼雄長官が提唱している「関西元気文化構想」に賛同してセミナーを企画。関連事業として認可を得た。

中島さんは五年前までは兵庫県芦屋市の高級マンションに住む専業主婦だった。愛媛県で生まれた中島さんは、同

に支えられた中島さんは、同じ思いや境遇の人に対して「自分と同じ苦労や回り道をしてほしくない」と考えた。

中島さんは、はた目にみると

「ドネット起業は簡単ではない。ただネットビジネスを副業とする週末起業家は増えている。ただし個人の日記をネット上で公開するブログ(ウェブログ)が普及するなど、ネットを活用した情報公開の機運が急速に広がっている。松下電器産業やソニーなどが電子書籍のハードを相次ぎ発売したのも追い風だ。

「何かに挑戦してみようか」という興味はあるても、きっかけがなかった」と振り返る

中島さん。逆境をバネに新境地を開拓するパワーあふれる女性は少なくないはずだ。

(大阪経済部 染谷好信)